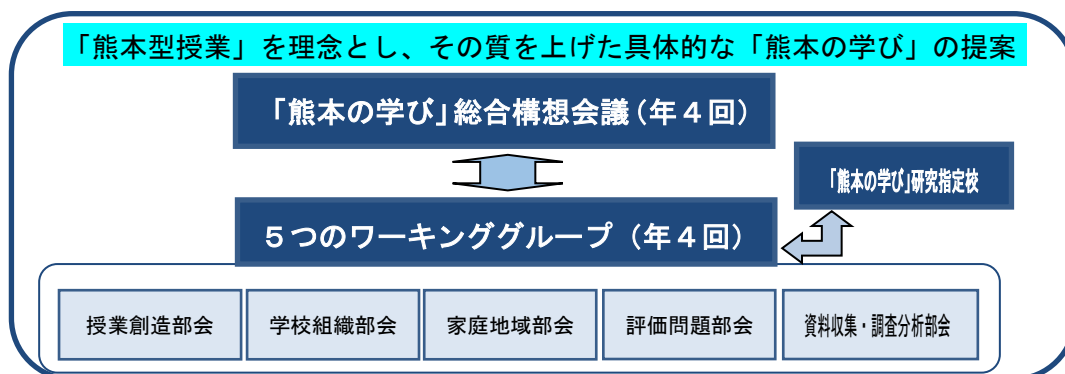


「熊本の学び」総合構想会議

熊本の未来を担う子供たちのために

義務教育課では、今回の学習指導要領改訂を機に、これまで本県が取り組んできた「熊本型授業」の質的向上を目指し、新学習指導要領の趣旨・内容を踏まえ、今後目指すべき「熊本の学び」の姿について新たに提案していくため、今年度「熊本の学び」総合構想会議を設置し協議を始めています。



【総合構想会議】



大学関係者、民間企業経営者、PTA関係者、市町村教育長、学校関係者等14名で構成し、「熊本の学び」の方向性等について協議を行っています。（座長：熊本大学教育学部 田口浩継教授、アドバイザー：東京学芸大学 児島邦宏名誉教授）

【5つのワーキンググループ】



5つの部会を学校関係者33名で構成し、総合構想会議の協議内容を、さらに具体化するために議論を進めています。今後、「熊本の学び」で目指す授業や家庭学習の在り方等について、分かりやすい形で示していく予定です。

【研究指定校】



研究指定校（H30~31）では、総合構想会議やワーキンググループの議論を踏まえ、実践的な研究を進めています。（学力向上プロジェクト研究校：大津町立室小学校、御船町立御船中学校、カリキュラムマネジメント研究校：水俣市立水俣第一小学校）

より多くの意見を反映させ、「チーム熊本」で完成を目指します。

来年9月には、学校関係者に素案を提示し、多くの意見をいただき、再度、検討を重ね、平成32年1月に完成予定です。

県教育委員会ホームページで会議の概要を公開中

県教育委員会ホームページ ⇒ 義務教育 ⇒ 「熊本の学び」で検索